

DP1X は、ファームウェアのバージョンアップ(ファームウェアバージョン 1.02)により、以下の機能が追加・変更となります。

### CP キャプチャー優先モード

通常の 1 コマ撮影では、撮影後すぐに画像処理がスタートするため、次の撮影が可能になるまで多少の時間が掛かります。キャプチャー優先モードは、バッファーがいっぱいになるまでリリース操作を優先する、シャッターチャンスに強い 1 コマ撮影モードです。

#### 設定方法：

クイックセットメニュー(P.34)のドライブモードから **CP** を選択、もしくは「**撮影設定**」(P.26) → 「**ドライブモード**」 → 「**CP キャプチャー優先**」を選択します。

キャプチャー優先モードに設定すると、画面右下に、CP タイマーと撮影可能枚数が表示されます。撮影すると CP タイマーがカウントダウン表示されます。



キャプチャー優先モードでは、バッファーがいっぱいになった時点で画像処理が始まりますが、一定の時間が経過すると自動的に画像処理が始まります。「**CP タイマー設定**」で画像処理が始まる時間を変更することができます。

「**撮影設定**」(P.26) → 「**CP タイマー設定**」より設定します。

次の時間から選択できます。

**5 秒、10 秒** (初期設定)、**30 秒、60 秒**

CP タイマー作動中に以下の操作を行うとタイマーがリセットされ、再度設定時間からカウントダウンされます。

シャッターボタンを半押しする <b>MENU</b> ボタンを押す <b>OK</b> ボタンを押す	<b>MENU</b> ボタンを押す MF 時に拡大表示をする 他の露出モードに変更する
--	--

CP タイマー作動中は、再生ボタンを押すことで、任意のタイミングで画像処理を開始することができます。

#### ご注意!!

●ドライブモードをキャプチャー優先に設定すると、下記の機能が使用できなくなります。

インターバルタイマー 音声付静止画	マイセッティングの保存 マイセッティングの呼出	カスタムホワイトバランスの 取り込み
----------------------	----------------------------	-----------------------

- オートブラケット設定を行うと、強制的に 1 コマ撮影に変更されます。
- CP タイマー作動中は、LCD オフとオートパワーオフが働きません。
- CP タイマー作動中は、ドライブモードの変更ができません。画像処理が完了してからドライブモードを変更して下さい。
- CP タイマー作動中は、再生モードに変更できません。一度 **再生** ボタンを押して画像処理を完了させてから、再度 **再生** ボタンを押して再生モードに移して下さい。
- バッテリーの容量が残りわずかな場合や、カードの空き容量がなくなった場合、タイマーの設定に関らず画像処理が開始されます。

### フォーカスモードの切り替え順序を変更

フォーカスモード(P.48)の切り替え順序を [通常 AF → LIMIT モード → MF] に変更し、DP2X との操作性の統一を図りました。

### AF 合焦時の拡大表示機能の追加

ピントが合った時(フォーカスフレームが緑色の時)に、シャッターボタンを半押ししたまま **拡大** ボタンを押すと、拡大表示になりピントの状態が確認できます。(拡大表示中は液晶モニタに **拡大** アイコンが表示されます。)シャッターボタンを半押ししたまま **戻る** ボタンを押すと通常表示に戻ります。

### 画質の設定に RAW+JPEG モードを追加

画質の設定に、RAW と JPEG の同時記録モードを追加しました。クイックセットメニュー(P.34)、もしくは「**撮影設定**」(P.26) → 「**画質**」より、**RAW+JPG (RAW+JPEG)** を選択してください。

#### ご注意!!

- 同時記録の JPEG の画像サイズは **HI**、画質は **FINE** となります。
- 設定できる ISO 感度は 800 までとなります。
- ISO 感度を 1600 以上を設定していても、画質を **RAW+JPG** に変更すると ISO 感度が自動的に 800 に切り替わります。
- カラーモードの白黒とセピアは選択できません。
- カラーモードが白黒、もしくはセピアに設定されている時に、画質を **RAW+JPG** に変更すると、カラーモードが自動的に **STD.** (スタンダード) に切り替わります。
- 音声付静止画は設定できません。
- RAW+JPG** で記録された画像に、音声メモを付けることはできません。
- RAW+JPG** で記録された画像を削除する場合、RAW 画像、JPEG 画像共に消去されます。

### フォーカスフレーム (P.49) に関する機能を強化

9 個のフォーカスフレームから選択する「9 点選択モード」に加え、フォーカスフレームを任意の位置に細かく移動できる「自由移動モード」を追加しました。また、通常のフォーカスフレームよりも、狙ったポイントをより確実に測距することができる、ピンポイントフォーカスフレームを追加しました。



#### 設定方法：

**MENU** ボタンを押します。

- OK** ボタンを押すたびに、「9 点選択モード」と「自由移動モード」が切り替わります。
- 「9 点選択モード」時は、**方向** ボタンで任意のフォーカスフレームを選択します。
- 「自由移動モード」時は、**方向** ボタンで任意の位置にフォーカスフレームを移動します(フォーカスフレーム移動エリアの範囲内で移動できます)。
- 拡大** ボタンを押すとピンポイントフォーカスフレームになり、**戻る** ボタンを押すと通常のフォーカスフレームになります。
- OK** ボタンを押して確定します。

- ピンポイントフォーカスフレームに設定している時は、ピント確認のための拡大表示(P.50)の拡大率が、通常のフォーカスフレーム設定時の約 2 倍になります。